

職員による自己評価

○環境・体制整備

・活動を分け外出をするなどで対応しています。

○業務改善

・平成 31 年度よりハートリンク全事業所合同で年 4 回の研修を行なっています。

・外部研修へも積極的に参加しています。

○適切な支援の提供

・個別支援の時間をとり対応しています。

・支援終了後は、毎日振り返りを行なっています。

○関係機関や保護者との連携

・児発管が代表として、地域支援協議会などに積極的に参加しています。

・地域での作品展示などに積極的に参加しています。

・相談支援員の方等、情報交換し連携をとっているがもっと範囲を広げ協力し合えるようにしていきたいと思えます。

○保護者への説明責任・信頼関係

・保護者会などは開催していませんが、保護者が参加できるイベントを年 2 回ほど開催しています。

○非常対応

・事業所として年 2 回の避難訓練を実施しています。

・緊急時対応マニュアル等の説明を随時行います。

保護者による評価

○環境面

・普段の様子を見る事がないので、判断できないという意見がありました。

○児童への支援内容

障害の特性上、あまり変化が多くない方が良いというご意見もあり。また、他との交流に関しては不要というお答えが多数ありました。

○事業所からの情報発信

・保護者様への説明は、丁寧で安心できるというお声を頂いています。

・クリスマス会やシティウォーク、運動会など、保護者が参加できる行事があるのは良い事だと思う。というご意見があり、そのプログラムに参加すれば情報交流も出来るので、良いとのご意見がありました。

○満足度

・子どもに合わせて様々な活動を取り入れて下さり、子どももとても楽しいようです。や、家族参加の企画もとても楽しみです。等のご意見を多数いただきました。

事業所内での分析

【共通点】

・児童が楽しみにして事業所を利用している

【相違点】

・活動プログラムの固定化には、障害の特性上あまり変化が多くないほうが良いという意見もあった。

・「児童クラブや学童など交流する機会があるか」に関しては、ハートリンク磯子としては交流するという機会を今は作っていませんが、公園など他の児童と共有の場で、遊びルールなども守って過ごしています。

分析・検討してみても…

事業所の強み

ウォーキングをメインに体を動かし規則正しい生活を送れるようご家族と密に連絡を取り支援している。

個別に支援した方がよい活動などは、スタッフが個別に対応する時間を作っている。

児童の支援をしていくうえで、ご家族や関係機関との連携を図って支援を進めている。

児童が地域に根付くような活動も取り入れている。

プログラムに講師の時間を取っている

事業所の改善点

安心してお過ごし頂ける様に、現状の感染症対策以外にも、緊急時の対応に関しても随時発信致します。

事業所の改善への取り組み

- ・講師の時間がマンネリ化しないよう講師とスタッフで相談しながら内容など変えていく
- ・児童が落ち着かない時などは個別に個室に対応する、音などが気になる場合にはウォーキングに出るなどの対応をしていく
- ・今後も活動が固定化されないようスタッフで話し合いをしていく
- ・避難訓練などはブログなどを利用し伝えていく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回のアンケートでもご意見欄にご家庭から多くのご意見をいただきありがとうございました。保護者の方やスタッフへ周知など徹底していない、伝わっていないことも多いのだと知ることが出来、分かりやすく伝えていくことが大事だと気付くことが出来ました。今後も頂いたご意見を参考に、より良い支援をしていけるようにと思います。